

4 報告日ごとの件数及び発見数

調査期間内の日付ごとに各件数を集計しました。

なお、いただいた報告のうち、「日付の記載がなかったもの」については、本集計には計上されておりませんので、ご了承ください。

Table 2. 報告日ごとの件数及び発見数

日付	件数 (件)	個体数 (匹)	日付	件数 (件)	個体数 (匹)	日付	件数 (件)	個体数 (匹)		
			8/1	12	20		9/1	9	32	
			8/2	4	10		9/2	1	3	
			8/3	11	44		9/3	20	80	
			8/4	5	9		9/4	4	13	
			8/5	15	153		9/5	2	5	
			8/6	1	1		9/6	1	1	
			8/7	3	6		9/7	2	2	
			8/8	19	67		9/8	8	23	
			8/9	11	24		9/9	5	13	
			8/10	5	11		9/10	12	116	
			8/11	9	26		9/11	3	10	
			8/12	12	35		9/12	0	0	
			8/13	3	12		9/13	4	11	
			8/14	9	16		9/14	15	31	
			8/15	0	0		9/15	8	21	
			8/16	2	2		9/16	0	0	
			8/17	4	16		9/17	8	26	
			8/18	4	4		9/18	20	55	
			8/19	6	14		9/19	8	22	
			8/20	8	13		9/20	0	0	
			8/21	6	16		9/21	18	24	
			8/22	5	3		9/22	4	4	
7/23	2	60		8/23	2	2		9/23	15	39
7/24	2	4		8/24	0	0		9/24	11	29
7/25	2	3		8/25	1	10		9/25	15	38
7/26	2	3		8/26	11	16		9/26	9	32
7/27	5	11		8/27	6	9		9/27	1	1
7/28	10	168		8/28	5	29		9/28	4	12
7/29	10	47		8/29	4	8		9/29	4	12
7/30	8	18		8/30	11	29		9/30	15	54
7/31	4	16		8/31	3	4				

調査開始

調査終了

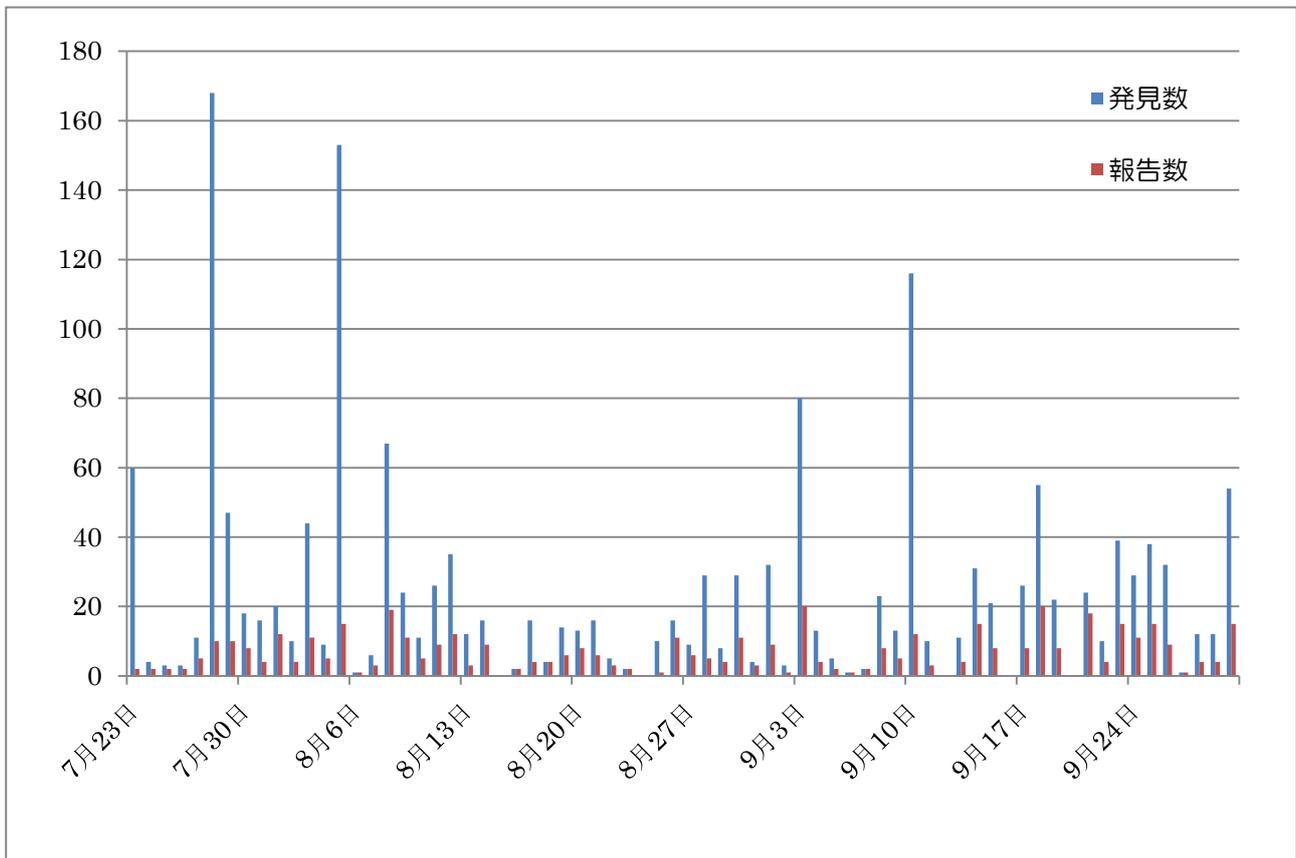


Table3. 月ごとの報告件数と発見数（端数線上げ）

	報告件数（日ごとの平均）	発見数（日ごとの平均）
7月	45件（5件/日）	330匹（37匹/日）
8月	197件（7件/日）	609匹（20匹/日）
9月	226件（8件/日）	709匹（24匹/日）

■上記のグラフおよび表で見ていくと、9月に向かうにつれて報告件数の平均が上がっていく結果となりました。

■全体の発見数では7月28日（168件）・8月5日（153件）が突出していました。

5 バッタの学区別報告数

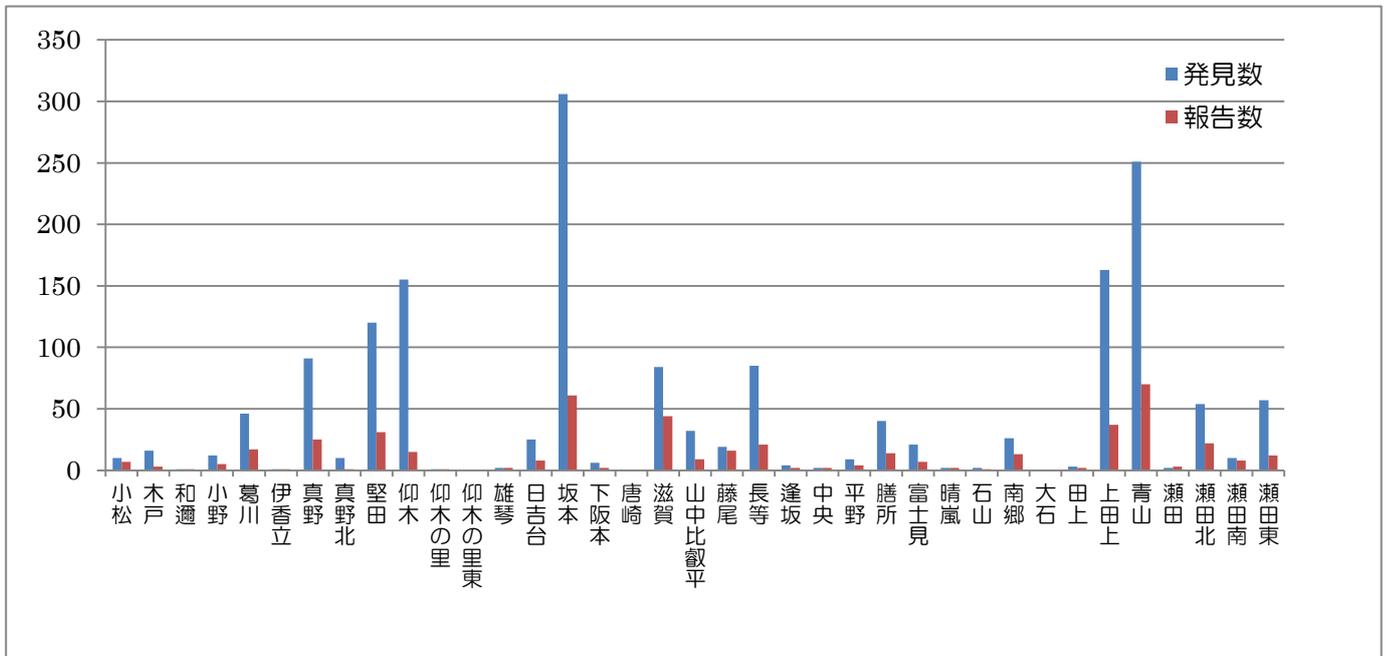
バッタの報告数を、以下に学区別で示しました。

なお、いただいた報告のうち、「市外で発見されたバッタ」「地域を特定できる記載がなかったバッタ」については、本集計に反映されておりません。

Table4.バッタの学区別報告数（バッタ全体）

学区	発見数	報告数	バッタの種類
小松	10	7	オンブバッタ、ショウリョウバッタ、トノサマバッタ、イボバッタ、不明
木戸	16	3	ヒロバネヒナバッタ、トノサマバッタ、不明
和邇	1	1	オンブバッタ
小野	12	5	オンブバッタ、ショウリョウバッタ、クルマバッタ
葛川	46	17	ショウリョウバッタ、クルマバッタモドキ、不明
伊香立	1	1	クルマバッタモドキ
真野	91	25	オンブバッタ、ハネナガイナゴ、コバネイナゴ、ショウリョウバッタ、トノサマバッタ、クルマバッタ、クルマバッタモドキ、イボバッタ、不明
真野北	10	1	マダラバッタ
堅田	120	31	オンブバッタ、ショウリョウバッタ、マダラバッタ、クルマバッタ、クルマバッタモドキ、イボバッタ
仰木	155	15	オンブバッタ、コバネイナゴ、ショウリョウバッタ、トノサマバッタ、クルマバッタ、不明
仰木の里	1	1	トノサマバッタ
仰木の里東	0	0	
雄琴	2	2	ショウリョウバッタ
日吉台	25	8	ショウリョウバッタ、クルマバッタモドキ、イボバッタ
坂本	306	61	オンブバッタ、コバネイナゴ、ショウリョウバッタ、ヒナバッタ、トノサマバッタ、クルマバッタ、クルマバッタモドキ、イボバッタ、不明
下阪本	6	2	コバネイナゴ、ショウリョウバッタ
唐崎	0	0	
滋賀	84	44	オンブバッタ、ツチイナゴ、ショウリョウバッタ、マダラバッタ、トノサマバッタ、クルマバッタ、クルマバッタモドキ、イボバッタ、不明
山中比叡平	32	9	ショウリョウバッタ、イボバッタ
藤尾	19	16	コバネイナゴ、ショウリョウバッタ、不明
長等	85	21	オンブバッタ、ツチイナゴ、ショウリョウバッタ、マダラバッタ、クルマバッタ、クルマバッタモドキ、不明
逢坂	4	2	オンブバッタ、ショウリョウバッタ
中央	2	2	オンブバッタ、ショウリョウバッタ
平野	9	4	ショウリョウバッタ、不明

膳所	40	14	オンブバッタ、ショウリョウバッタ、マダラバッタ、トノサマバッタ、イボバッタ、不明
富士見	21	7	オンブバッタ、ショウリョウバッタ、マダラバッタ、クルマバッタモドキ、イボバッタ
晴嵐	2	2	ショウリョウバッタ
石山	2	1	コバネイナゴ
南郷	26	13	ショウリョウバッタ、トノサマバッタ、クルマバッタモドキ、不明
大石	0	0	
田上	3	2	クルマバッタモドキ、イボバッタ
上田上	163	37	オンブバッタ、短翅型フキバッタ類、ツチイナゴ、コバネイナゴ、ショウリョウバッタ、ショウリョウバッタモドキ、ヒロバネヒナバッタ、ツマグロバッタ、トノサマバッタ、クルマバッタ、クルマバッタモドキ、イボバッタ、不明
青山	251	70	オンブバッタ、アカハネオンブバッタ、ツチイナゴ、ハネナガイナゴ、コバネイナゴ、ショウリョウバッタ、ショウリョウバッタモドキ、マダラバッタ、トノサマバッタ、クルマバッタ、イボバッタ、不明
瀬田	2	3	マダラバッタ、トノサマバッタ
瀬田北	54	22	オンブバッタ、ハネナガイナゴ、コバネイナゴ、ショウリョウバッタ、ショウリョウバッタモドキ、マダラバッタ、イボバッタ
瀬田南	10	8	オンブバッタ、ツチイナゴ、ショウリョウバッタ、ショウリョウバッタモドキ、マダラバッタ、トノサマバッタ、クルマバッタモドキ
瀬田東	57	11	ツチイナゴ、コバネイナゴ、ショウリョウバッタ、マダラバッタ、トノサマバッタ、クルマバッタ、クルマバッタモドキ、イボバッタ



■発見数の多さ順では、上位から坂本（306匹）、青山（251匹）、上田上（163匹）となりました。坂本、青山、上田上ではバツタが生息できる環境が整っているだけでなく、人々がその自然環境の中に入りやすいような施設が多くあることがわかりました。坂本では、日吉大社やその他の神社やお寺。青山では、青山児童クラブ。上田上では桐生キャンプ場があるため調査員さんがバツタを観察しやすかったのではないかと考えられます。大津の自然環境の現状を知り、守り、育てるにはこのような人と自然が共に暮らすことのできる環境が必要であると思われます。

■坂本では、日吉大社の抜穂祭（稲刈り）でたくさんのバツタを発見し報告して下さった調査員さんがおられました。

■木戸、長等、瀬田東は、報告数の少なさに比べると、発見数がとても多いことがわかります。学区内でたくさんのバツタを探して下さった調査員さんがいらっしやったのが伺えます。調査員さんの活動により結果が大きく変化することも、皆さんと作り上げる「身近な環境市民調査」の大きな特徴であることがわかりました。

■学区によっては発見数0匹（和邇、伊香立、仰木の里、仰木の里東、唐崎、大石）となっている場所もありますが、その学区には「バツタが全くいない」ことを示すものではありません。

■夏休みの自由研究として、「身近な環境市民調査」を活用して下さっている調査員さんもいらっしやいました。

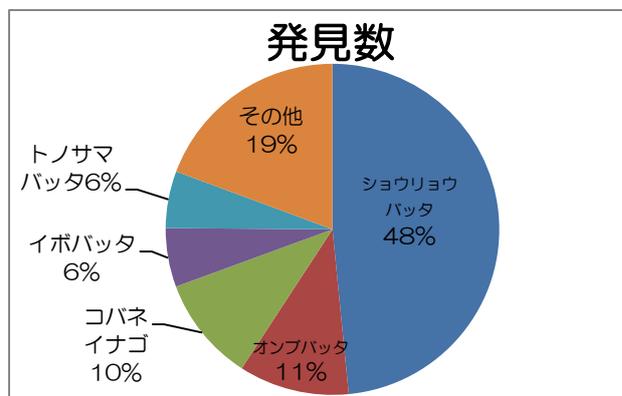
6 バッタの発見数・報告数

バッタ発見数上位5種類を、発見数と報告数でまとめました。

皆さんの見つけたバッタはいかがでしょうか。

Table5. バッタの発見数・報告数

種類	発見数(匹)	報告数(件)
ショウリョウバッタ	810	167
オンブバッタ	179	67
コバネイナゴ	171	26
イボバッタ	96	49
トノサマバッタ	93	25
その他	323	130
計	1672	464



その他

アカハネオンブバッタ、短翅型フキバッタ類、ハネナガフキバッタ、ツチイナゴ、ハネナガイナゴ、セグロイナゴ、ショウリョウバッタモドキ、ナキイナゴ、ヒロバネヒナバッタ、ヒナバッタ、イナゴモドキ、ツマグロバッタ、マダラバッタ、クルマバッタ、クルマバッタモドキ、カワラバッタ、不明

■発見されたバッタを多い順に見ていくと、上位からショウリョウバッタ、オンブバッタ、コバネイナゴ、イボバッタ、トノサマバッタとなりました。特にショウリョウバッタの発見数は全体の半数近くを占め、2位のオンブバッタと比較しても4倍以上という結果になりました。多くの調査員さんの目があったとはいえ、ここまでとは驚きです。

■一方、希少な種類であるイナゴモドキ、カワラバッタ、アカハネオンブバッタ、ハネナガフキバッタの4種類は、生息環境がかなり限定されるので特に注目・注意していました。今回の調査結果としてはアカハネオンブバッタが1匹発見されたのみで、上記の他の種類については発見されませんでした。

7 生息環境別報告数

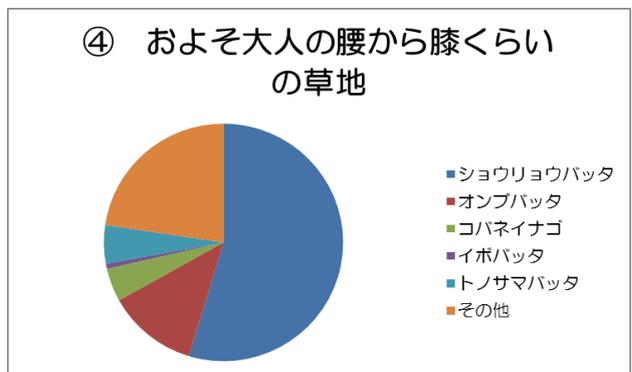
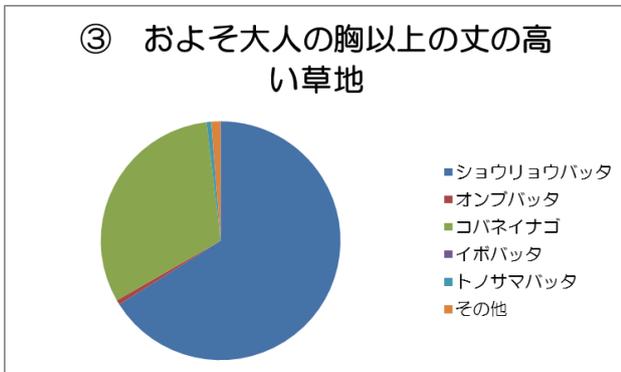
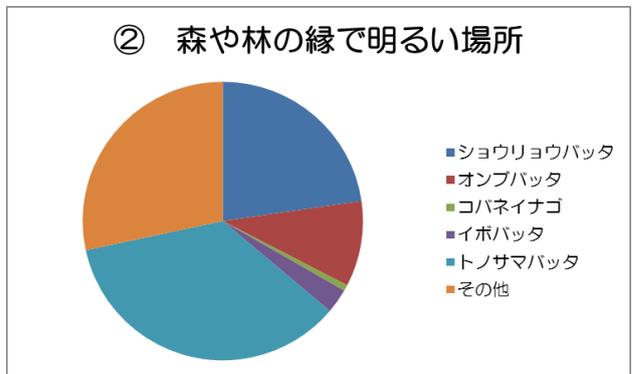
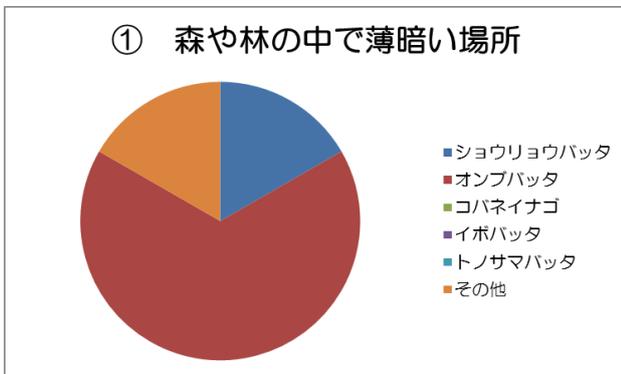
どんな種類のバッタが、どのような場所に生息しているかをまとめました。

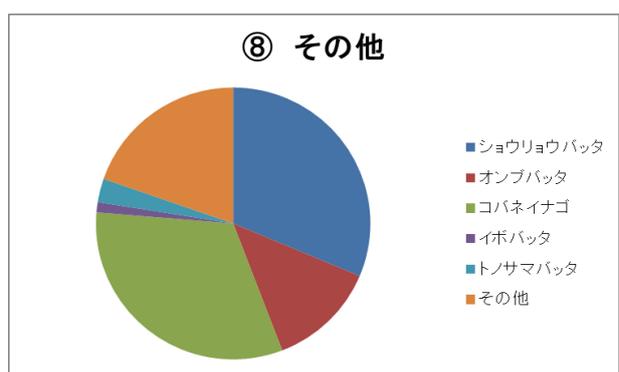
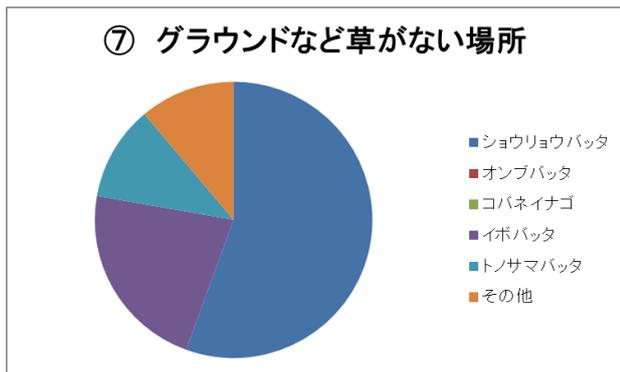
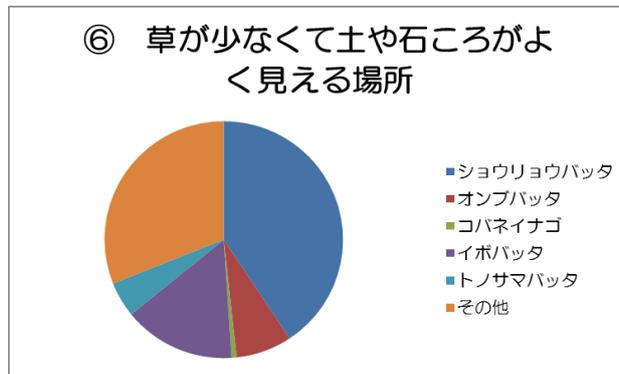
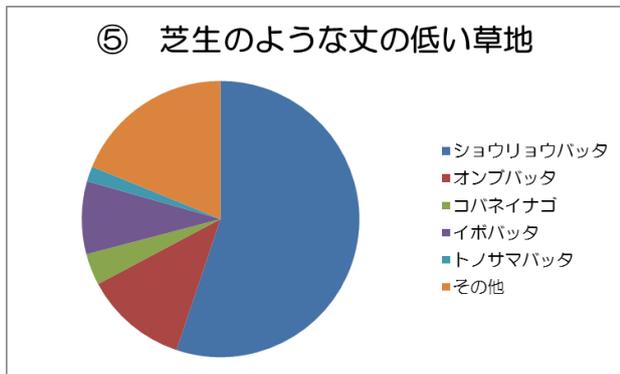
Table6-1. 生息環境別報告数（バッタ全体）

生息環境	発見数	報告数	種類	名前
① 森や林の中で薄暗い場所	6	3	3	オンブバッタ、短翅型フキバッタ類、ショウリョウバッタ
② 森や林の縁で明るい場所	141	30	14	オンブバッタ、短翅型フキバッタ類、ツチイナゴ、コバネイナゴ、ショウリョウバッタ、ショウリョウバッタモドキ、ヒロバネヒナバッタ、ヒナバッタ、ツマグロバッタ、マダラバッタ、トノサマバッタ、クルマバッタ、クルマバッタモドキ、イボバッタ、不明
③ およそ大人の胸以上の丈の高い草地	159	6	5	オンブバッタ、コバネイナゴ、ショウリョウバッタ、マダラバッタ、トノサマバッタ
④ およそ大人の腰から膝くらいの草地	287	72	11	オンブバッタ、ツチイナゴ、コバネイナゴ、ショウリョウバッタ、ショウリョウバッタモドキ、ヒロバネヒナバッタ、マダラバッタ、トノサマバッタ、クルマバッタ、クルマバッタモドキ、イボバッタ、不明
⑤ 芝生のような丈の低い草地	622	196	11	オンブバッタ、アカハネオンブバッタ、ツチイナゴ、コバネイナゴ、ショウリョウバッタ、ショウリョウバッタモドキ、マダラバッタ、トノサマバッタ、クルマバッタ、クルマバッタモドキ、イボバッタ、不明
⑥ 草が少なく土や石ころがよく見える場所	145	55	8	オンブバッタ、ハネナガイナゴ、コバネイナゴ、ショウリョウバッタ、マダラバッタ、トノサマバッタ、クルマバッタモドキ、イボバッタ、不明
⑦ グラウンドなど草がない場所	9	7	4	ショウリョウバッタ トノサマバッタ、クルマバッタ、イボバッタ
⑧ その他	249	77	9	オンブバッタ、コバネイナゴ、ショウリョウバッタ、ショウリョウバッタモドキ、マダラバッタ、トノサマバッタ、クルマバッタ、クルマバッタモドキ、イボバッタ、不明

Table6-2. 生息環境別報告数（発見数上位5種類のバッタ）

発見数	ショウリョウバッタ	オンフバッタ	コバネイナゴ	イホバッタ	トノサマバッタ	その他	計
① 森や林の中で薄暗い場所	1	4	0	0	0	1	6
② 森や林の縁で明るい場所	32	14	1	4	50	40	141
③ およそ大人の胸以上の丈の高い草地	105	1	50	0	1	2	159
④ およそ大人の腰から膝くらいの草地	157	35	13	2	15	65	287
⑤ 芝生のような丈の低い草地	343	75	23	53	11	117	622
⑥ 草が少なくて土や石ころがよく見える場所	59	11	1	22	7	45	145
⑦ グラウンドなど草がない場所	5	0	0	2	1	1	9
⑧ その他	78	32	80	3	7	49	249
計	780	172	168	86	92	320	1618





■発見数上位5種類のバッタを、環境別に集計しました。「⑧その他」については、アカハネオンプバッタ、短翅型フキバッタ類（ダイリフキバッタ、ミカドフキバッタ、ヤマトフキバッタ、キンキフキバッタ、ヒメフキバッタ）、ハネナガフキバッタ、ツチイナゴ、ハネナガイナゴ、セグロイナゴ、ショウリョウバッタモドキ、ナキイナゴ、ヒロバネヒナバッタ、ヒナバッタ、イナゴモドキ、ツマグロバッタ、マダラバッタ、クルマバッタ、クルマバッタモドキ、カワラバッタ、不明が含まれます。

■いただいた報告で環境の記載がなかったものについては本集計に含まれていないため、「総発見数」とは異なります。

■前述に同じく、「薄暗い場所」や「草がない場所」では、極端に報告数が減っているのが見取れます。